

八丈島 水産だより

2月号
2018



八丈島の至る所でアロエの花が咲き、八丈富士に雪が積もるなど本格的な冬の到来を感じます。そんな冬の寒さに負けじと、1月7日に第37回パブリックロードレースが開催されました。今年は天候にも恵まれ、3キロ、10キロ、そしてハーフマラソンを多くのランナーが走り切りました。また、ゴール地点では疲労回復に役立つ漁協女性部のすり身汁が振る舞われました。

■ 最近の漁模様

冬場は例年海が時化て漁に出られないことが多いですが、今期はベテランの漁師さんたちが経験したことないほど荒れた状態が続いたそうです。そのため1月下旬から始まるトビウオ漁もなかなか出られず、海の様子を見ながらタイミングをうかがっています。一方、海が静かな時にキンメダイやマグロ類・カツオ類が徐々に水揚げされ始めています。



■ 産業祭が開催されました

今年も1月27、28日に八丈町役場にて「八丈島産業祭」が開催されました。島で育った花や観葉植物、農作物や工芸品などの品評会と表彰式が行われました。

漁協女性部も毎年参加しており、朝市でも販売している手作りのお総菜やすり身汁を求めて、たくさんの方が集まりました。また今後の商品開発に向けた調査として、だし汁の試飲アンケートも行いました。

